

保育の中でメディアを活用している幼稚園や保育所では、どのようなねらいをもってメディアを導入しているのでしょうか。

子どもが楽しめるものが最良の教育手段

「楽しめるものが最良の教育手段」⁽¹⁾だと述べたマクルーハンは、「現代科学の産物はそれ自体でいいとかわるいとかいうものではない。その価値を決めるのはその用い方だ。」⁽²⁾と述べています。マクルーハンはさらに、「メディアはメッセージである」という言葉に集約されるように、メディアの内容と形式について検討することが、教師にとってメディアそのものが重要な資産となるとも述べています。

子どもたちにとって、教育がさまざまなメディアから最上のものを引き出すことと、子どもがメディアとはどのようなものかを理解することが、子どもが現代を生きている世界を認識するためには必要だと考えているのです。



Herbert Marshall McLuhan

保育でのメディア活用のねらいは？

さて、すでに保育の中でメディアを活用している幼稚園や保育所では、どのようなねらいをもってメディアを導入しているのでしょうか。

幼稚園や保育所の保育者を対象にしたアンケートで「保育におけるメディア活用で育まれる力」について質問をした結果、上位にあがってきた内容を紹介します。幼稚園・保育所とも、「健康」「言葉」「表現」の領域で共通の項目が選択されています。

<出典>2009年 科学研究費補助金 基盤研究(C)「保育でのメディア活用に関する教育方法・技術をパッケージ化したカリキュラムの開発」における調査結果の一部

『保育所』

1. 保育士等と一緒に歌ったり、手遊びをしたり、リズムに合わせて体を動かしたりして遊ぶ（表現）
2. 様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む（健康）
3. 絵本や物語などに親しみ、興味を持って聞き、想像する楽しさを味わう（言葉）
4. いろいろな体験を通じてイメージや言葉を豊かにする（言葉）
5. 危険な場所や災害時などの行動の仕方が分かり、安全に気を付けて行動する（健康）

『幼稚園』

→1位、2位は複数の意見が同率であった。

1. 絵本や物語などに親しみ、興味を持って聞き、想像をする楽しさを味わう（言葉）
1. 様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む（健康）
3. いろいろな体験を通じてイメージや言葉を豊かにする（言葉）
3. 危険な場所、危険な遊び方、災害時などの行動の仕方が分かり、安全に気を付けて行動する（健康）
5. 感じたこと、考えたことなどを音や動きなどで表現したり、自由にかいたり、つくったりなどする（表現）

(1)M.マクルーハン・E.カーペンター『マクルーハン理論』p.108(2003)平凡社

(2)M.マクルーハン『メディア論』p.11(1987)みすず書房

画像出典: Ich schuf dieses Porträt basierend auf die Informationen, die irgendetwas Vertrauen verdienen.